

講座名	「教科学習と特別支援」ー子どもの育ちを支援する事例を通してー		
講師	大城麻紀子（沖縄県立森川特別支援学校教諭）		
期 日	平成23年7月25日（月）	時 間	9：30～12：00
場 所	那覇市立教育研究所 多目的ホール	人 数	小18 中3 所員3 計24
内 容	<p>◇子どもたちへの支援の基本</p> <p>◇行動支援のポイント</p> <p>◇学習支援のポイント</p> <p>◇適切な行動の支援</p> <p>◇認知発達を促す支援</p> <p>◇自立への支援</p> <p>◇教科学習の具体的支援</p> <p>【 国語 】</p> <p>①読むことが苦手な子への音読</p> <p>②書くことが苦手な子への書字指導</p> <p>【 算数 】</p> <p>①計算が苦手な子への指導</p> <p>②文章が苦手な子への指導</p> <p>③図形が苦手な子への指導</p> <p>◇子どもとの関係づくりをする</p> <p>①学級にどう説明するか？</p> <p>②多様な個性を認め合える学級づくり</p> <p>③場面ごとの理解を図る</p> <p>④見守れる学級づくり</p> <p>⑤学級全体で取り組むプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・怒りのコントロール ・ストレスマネージメント ・アサーション・トレーニング <p>◇保護者との連携</p> <p>①気づきたくない保護者，話し合いたくない保護者</p> <p>②気づいて何とかしたいと思っている保護者</p>		
感想 質 問	<p>幼 具体的な手立てがたくさんで分かりやすかったです。個への支援を考えながら、学級全体にもそれを理解してもらえるようにする大切さも理解できました。</p> <p>小 聴覚優位，視覚優位によって手立ての仕方が大きく違うことや，座席の配慮等わかっているつもりでも改めてお聞きすると，前後方・左中右による環境の違いなど，まだまだ配慮不足だったことがわかりました。</p> <p>小 認知発達がうまくいってないため，知的な遅れがあるようになってしまうというのを聞いて，ハッとしました。遅れがあると決めつけてその子を見るのではなくて，まずはその子にあった手立てや環境を探してみようと思えました。</p> <p>小 特別支援学級を担任して2年目になります。今日の講座はうなずきながら，笑みをこぼしながら拝聴させて頂きました。早速学習や学級経営に取り入れていきたいと思えます。</p> <p>小 具体的な事例で自分の学級にいる子どもを重ねながら拝聴することができ，非常に分かりやすかったです。去年度も受講しましたが今年度は更に勉強になりました。</p> <p>中 自分が日頃授業で“なんで？”とか“まだわからんの？”と悩んだり，苦しんだりしていたので（生徒はもっとこんがらがっていたと思いますが…），具体的な指導方法は，私にとってすぐに利用できる内容でした。</p>		

